

## 総合科学教育研究センター教員個人業績

### 凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2007年1月1日から2007年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞歴等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動

## 高橋秀晴 教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>*学術論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高橋秀晴「正・続「墮落論」論」(秋田県立大学総合科学教育研究センター『秋田県立大学総合科学研究彙報』第8号、pp.11～14、2007年3月28日)(単著)</li> <li>2) 高橋秀晴「揺籃期の「新聲」と秋田」(『秋田風土文学』第十三号、pp.14～27、2007年8月23日)(単著)</li> <li>3) 高橋秀晴「石坂洋次郎の彷徨——反転する明と暗の軌跡——」(『秋田文学』第4次第16号、pp.29～37、2007年10月20日)(単著)</li> <li>4) 高橋秀晴「小説家としての小牧・洋文・賢三——出身地秋田との関わりに言及しつつ——」(『秋田県立大学国際サイエンスフォーラム2007講演論文集』、pp.58～67、2007年11月30日)(単著)</li> </ol>
<p>II 学会報告等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) "Komaki, Yobun, and Kenzo as Novelists: Referring Relations with Their Birthplaces Akita" (秋田県立大学国際サイエンスフォーラム2007ポスターセッション、2007年11月30日、於：秋田県立大学本荘キャンパス)</li> </ol>
<p>III 社会活動・受賞歴等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本近代文学会東北支部運営委員 (1995年5月～)</li> <li>2) 秋田県立秋田南高等学校学校評議員 (2005年4月～)</li> <li>3) あきた文学資料館調査運営委員会委員 (2005年4月～2007年3月)</li> <li>4) 東北新潟出身作家研究学会常任理事 (2005年4月～2007年5月)</li> <li>5) 株式会社秋田放送番組審議会委員 (2006年7月～)</li> <li>6) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問 (2006年7月～)</li> <li>7) 秋田県教職員健康審査会第1部会委員 (2006年10月～)</li> <li>8) 平成19年度秋田県広報一括委託提案競技審査会委員 (2007年1月～2月)</li> <li>9) あきた文学資料館収集検討委員 (2007年4月～)</li> <li>10) 秋田県立博物館協議会委員 (2007年7月～)</li> <li>11) 日本社会文学会評議員 (2007年7月～)</li> <li>12) 秋田県高等学校文芸コンクール選考委員 (2007年7月～)</li> <li>13) 『社会文学』編集委員・査読委員 (2007年9月～)</li> <li>14) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査会委員 (2007年11月～)</li> <li>15) 秋田県高等学校キャリア教育調査研究委員会運営指導委員 (2007年12月～)</li> </ol>
<p>IV 講演・公開講座等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「作家とノスタルジー」(土崎景気会、2007年1月23日、於：ホテル大和)</li> <li>2) 「仙北市の先人たち／佐藤義亮・田口掬汀・千葉治平」(ルネッサンス・角館／歴史と文化フォーラム、2007年1月24日、於：角館町総合情報センター)</li> <li>3) 「高校生活を支援するためのキー・ポイント」(秋田県立大館国際情報学院高等学校／KJ「PTAの集い」進路講演会、2007年4月15日、於：秋田県立大館国際情報学院高等学校)</li> </ol>

	<p>4)「矢田津世子の素顔」(日本文学同好会、2007年5月6日、於：あきた文学資料館)</p> <p>5)「映画「母と子」と「秋扇」」(日本文学同好会、2007年5月27日、於：あきた文学資料館)</p> <p>6)「「女人芸術」の中の秋田——多喜二・解子・津世子の掲載作——」(あきた文学資料館文学講座、2007年6月2日、於：あきた文学資料館)</p> <p>7)「国語教師であることの喜び」(秋田県高等学校教育研究会国語部会講演会、2007年6月15日、於：秋田市立御所野学院高等学校)</p> <p>8)「金子洋文の偉業」(赤れんが郷土館学習講座／秋田の知られざる偉人、2007年7月25日、於：秋田市立赤れんが郷土館)</p> <p>9)「近代作家の創作意識——秋田出身作家を例に——」(高大連携事業／アドバンスト講義、2007年9月19日、於：秋田県立湯沢高等学校)</p> <p>10)「小林多喜二と松田解子」(日本民主主義文学会／東北文学教室、2007年9月22日、於：秋田県生涯学習センター分館ジョイナス)</p> <p>11)「郷土の作家の創作方法」(日本民主主義文学会／東北文学教室、2007年9月23日、於：秋田県生涯学習センター分館ジョイナス)</p> <p>12)「矢田津世子の人と文学」(秋田県総合教育センター「土曜講座／教師力向上講座(レベルアップ編)」講話、2007年11月17日、於：五城館)</p> <p>13)「小説を読む行為と教育」(秋田県高等学校教育研究会国語部会中央地区国語教育研究大会講演会、2007年11月22日、於：秋田県立秋田西高等学校)</p> <p>14)「文学の力」(工藤一紘著『秋田・反骨の肖像』の出版を祝う会記念講演、2007年12月16日、於：ホテルメトロポリタン秋田)</p>
V その他の活動	<p>* 助成研究</p> <p>1) 平成19年度秋田県立大学学長プロジェクト研究「小牧近江・金子洋文関係新資料に関する分析と考察」(研究代表者)</p> <p>* 新聞・雑誌掲載等</p> <p>1) 講演録「学習意欲と学力向上を考える～意欲・やる気を重視して」(「第56回全国高等学校PTA連合会大会／秋田大会会報」、2007年1月)</p> <p>2) 講演録「基調講演「学習意欲喚起へのアプローチ～支援することの可能性と限界を巡って」(社団法人全国高等学校PTA連合会『学習意欲と学力向上を考える／調査研究紀要』、2007年3月30日)</p> <p>3)「言語の芸術たり得るために」(秋田県高等学校文化連盟文芸部会『第25回秋田県高等学校文芸コンクール優秀作品集』第25集、pp.81～82、2007年10月17日)</p> <p>4)「「随筆」という表現」(秋田県高等学校文化連盟文芸部会『第25回秋田県高等学校文芸コンクール優秀作品集』第25集、p.83、2007年10月17日)</p> <p>5)「文学を論じる文学」(秋田県高等学校文化連盟文芸部会『第25回秋田県高等学校文芸コンクール優秀作品集』第25集、p.84、2007年10月17日)</p> <p>6)「百花繚乱」(秋田県高等学校文化連盟文芸部会『第25回秋田県高等学校文芸コンク</p>

ル優秀作品集』第25集、pp.95～96、2007年10月17日)

\*記事・取材協力等

- 1) 「『七つの心象—近代作家とふるさと秋田』」(「多喜二通信」No.72、2007年1月27日)
- 2) 「仙北市で歴史と文化フォーラム／先人残した功績50人が耳傾ける／県立大准教授が講演」(「秋田魁新報」、2007年1月29日)
- 3) 「特別第3分科会」(「秋田県高P連会報」第99号、p.2、2007年1月20日)
- 4) 「特別分科会◎各会場風景」(「第56回全国高等学校PTA連合会大会／秋田大会会報」、2007年1月)
- 5) 「特別第3分科会／学習意欲と学力向上を考える」(「第56回全国高等学校PTA連合会大会／秋田大会会報」、p.77、2007年1月)
- 6) 「小林多喜二、松田解子を生んだ秋田で東北文学教室」(『海風』第10号、表紙裏、2007年2月17日)
- 7) 「月曜論壇／「孫の世代の責任」」(「秋田魁新報」、2007年2月26日)
- 8) 「もう一つの“秋田”が見えてくる」(「秋田魁新報」、2007年2月26日)
- 9) 「研究・関連資料／高橋秀晴「よみがえる松田解子」秋田魁新報2006年10月5日付夕刊」(「松田解子の会会報」第6号、p.17、2007年3月12日)
- 10) 「研究・関連資料／高橋秀晴『七つの心象 近代作家とふるさと秋田』秋田魁新報社刊2006年12月」(「松田解子の会会報」第6号、p.17、2007年3月12日)
- 11) 「紀要の発刊にあたって」(社団法人全国高等学校PTA連合会『学習意欲と学力向上を考える／調査研究紀要』、p.2、2007年3月30日)
- 12) 「ことばに想いをのせて(東北大会集録用原稿再掲)」(秋田県高等学校教育研究会国語部会『平成十八年度／第四十三号／研究紀要』、2007年3月31日)
- 13) 「北斗星」(「秋田魁新報」、2007年4月14日)
- 14) 「もっと探したい秋田の宝／あきた文学資料館・開館一周年に寄せて」(「秋田魁新報」、2007年4月24日)
- 15) 「平成18年度事業報告／講演会「近代文学史における秋田」／講師：高橋秀晴氏(秋田県立大学准教授)」(「秋田県立博物館年報」、p.25、2007年5月)
- 16) 「社説／矢田津世子の顕彰／再評価へ資料目録作れ」(「秋田魁新報」、2007年6月7日)
- 17) 「講座「秋田の知られざる偉人」」(秋田市広報課「広報あきた」NO.1652、2007年7月6日)
- 18) 赤れんが郷土館「秋田の知られざる偉人」(「秋田魁新報」、2007年7月11日)
- 19) 「小牧の資料本県へ／近く鎌倉の遺族寄託」(「秋田魁新報」、2007年8月31日)
- 20) 「文学者・小牧近江の遺品 県に寄託／多才な男 素顔に迫る」(「読売新聞」、2007年9月1日)
- 21) 「「秋田の女流作家2人展——矢田津世子と松田解子」開かれる／あきた文学資料館(一月～五月)」(「松田解子の会会報」第7号、p.1、2007年9月3日)
- 22) 「小牧近江の遺品到着／第1弾 蔵書、写真など寄託」(「秋田魁新報」、2007年9月5日)
- 23) 「「種蒔く人」発行／小牧の遺品寄託／遺族が県立資料館に」(「読売新聞」、2007年11月)

総合科学教育研究センター個人業績

	<p>1日)</p> <p>24)「「種蒔く人」小牧近江の遺品／寄託手続きを完了／県、文学資料館に展示へ」(「秋田魁新報」、2007年11月1日)</p> <p>25)「プロレタリア文学運動先駆け「種蒔く人」創刊／小牧近江遺品／故郷・秋田へ／詩集、日記……2万点／研究者「宝の山」」(「読売新聞」湘南版、2007年11月9日)</p> <p>26)「蒔かれた「種」、古里へ／小牧近江の遺品寄託／書簡など2万点超総合研究可能に」(「秋田魁新報」、2007年11月26日)</p> <p>27)「「秋田文学」第16号刊行」(「秋田魁新報」、2007年12月10日)</p> <p>*助言等</p> <p>1) ルネッサンス・角館／歴史と文化フォーラム／ディスカッション助言者(2007年1月24日、於：角館町総合情報センター)</p> <p>2) 秋田県総合教育センター「土曜講座／教師力向上講座(レベルアップ編)」(「秋田の文学散歩～五城目町を行く～」(2007年11月17日、於：五城目町)</p> <p>3) 文化庁・社団法人全国高等学校文化連盟主催／第9回高校生文芸道場北海道・東北ブロック大会秋田大会散文分科会講師(2007年10月19日、於：角館交流センター)</p>
--	--

小松田儀貞 准教授

I 著書・学術論文等	<p>*学術論文</p> <p>1) 小松田儀貞「ブルデューの国家研究構想——「国家の科学」の条件——」(秋田県立大学総合科学教育研究センター『秋田県立大学総合科学研究彙報』第8号、pp.1～10、2007年3月28日)(単著)</p>
II 学会報告等	<p>*研究会報告</p> <p>1)「「〈生権力〉論の展開——M・フーコーにおける統治性の問題をめぐって」(「生命と社会」研究会、2007年8月25日、於：東洋大学)(科学研究費助成研究)</p>
III 社会活動・受賞歴等	<p>1) 秋田県男女共同参画審議会委員(2004年7月～)</p> <p>2) あきた女性チャレンジ支援連絡協議会会長(2005年5月～)</p> <p>3)「第3回 あきた女性チャレンジ事例発表会」(2007年9月14日、於：秋田県生涯学習センター)コーディネーター</p>
V その他の活動	<p>*助成研究</p> <p>1) 平成18～19年度科学研究費補助金基盤研究(C)「「生命操作の時代」における人間生命と社会の存在形態の可能性に関する研究」(課題番号18530391)研究分担者(研究代表者・藤山嘉夫横浜市立大学教授)</p> <p>*新聞掲載</p> <p>1) 小松田儀貞「ノイズに耳を澄ます」(「秋田魁新報」2007年10月24日)</p>

長澤吉則 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>* 著書</p> <p>1) 出村慎一監修、佐藤進、山次俊介、<u>長澤吉則</u>編著『健康・スポーツ科学のためのSPSSによる統計解析入門』(杏林書院)、2007年8月10日(共編著)</p> <p>* 学術論文</p> <p>1) 島田茂、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、松田繁樹、南雅樹、山田孝禎、北林保：高等専門学校生の体力における発達傾向の差異：1990年および2000年に入学した男子学生を対象として、教育医学52：174-184、2007、2(査読有)。</p> <p>2) <u>Yoshinori Nagasawa</u>, Shinichi Demura: Provisional norm and age group differences of controlled force exertion measurements by a computing sinusoidal target-pursuit system in Japanese male adults. Human Performance Measurement 4:1-8, 2007, 7(査読有)。</p> <p>3) Shinichi Demura, Shunsuke Yamaji, <u>Yoshinori Nagasawa</u>: Differences and relationships between residual volumes measured on land and in water calculated from estimate equations. The Journal of Sports Medicine and Physical Fitness 47:309-315, 2007, 9(査読有)。</p> <p>4) <u>Yoshinori Nagasawa</u>, Shinichi Demura: Age group and individual differences in controlled force exertion by a computing sinusoidal and quasi-random target-pursuit system. Journal of Education and Health Science 53:175-183, 2007, 10(査読有)。</p> <p>* Proceeding</p> <p>1) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、山田孝禎、菅野紀昭、池本幸雄、南雅樹：高等専門学校男子学生のご生活習慣および健康状態の縦断的推移－2001年入学生のご4年間の縦断的資料を用いて、教育医学53：120、2007、8。</p> <p>2) 北林保、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、内山応信、吉村喜信、池本幸雄：高齢者の静的立位姿勢における足圧中心動揺特性、教育医学53：49、2007、8。</p> <p>3) 山田孝禎、出村慎一、野口雄慶、菅野紀昭、<u>長澤吉則</u>、山本桂：高齢者の椅子立ち上がり動作直後の歩行特性と転倒リスクとの関係、教育医学53：50、2007、8。</p> <p>4) 野口雄慶、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、内山応信、辛紹熙：足関節に対する近赤外線照射、軽運動、およびストレッチによるウォーミングアップが関節可動域およびタッピング動作に及ぼす影響、教育医学53：53、2007、8。</p> <p>5) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、中田征克、青木宏樹、辛紹熙：健常女性を対象とした擬似ランダム波形表示法による筋力発揮調整能の年代差および標準値の検討、体力科学56：708、2007、12。</p> <p>6) 青木宏樹、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、中田征克、山本桂：青年女子における異なる動作の単発的パワー発揮の一側優位性、体力科学56：615、2007、12。</p> <p>7) 山本桂、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、山次俊介、青木宏樹：間欠的把握作業時における指示条件の違いが筋力値および筋酸素動態に及ぼす影響、体力科学56：652、2007、</p>
-------------------	--

	<p>8) 辛紹熙、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、青木宏樹：箸使用が豆運びテストの評価変数に及ぼす影響の検討、体力科学56：884、2007、12.</p>
II 学会報告等	<p>* 学会報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、北林保、山本桂「波形表示法による筋力発揮調整能測定値の年代差および性差」(日本体育測定評価学会第6回大会、2007年3月、於：東京薬科大学)</li> <li>2) 大杉貴康、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、中田征克、山田孝禎、山本桂「水球選手の競技パフォーマンスに關与するメンタルタフネスの評価基準の提案」(日本体育測定評価学会、第6回大会於2007年3月、於：東京薬科大学)</li> <li>3) 山本桂、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、山次俊介、中田征克、青木宏樹「間欠的肘屈曲動作による持続的パワー発揮能力と最大筋力の關係」(日本体育測定評価学会第6回大会、2007年3月、於：東京薬科大学)</li> <li>4) 北林保、出村慎一、南雅樹、<u>長澤吉則</u>、松田繁樹、辛紹熙「静的立位姿勢の動揺位置および速度のパワースペクトル特性－パワースペクトル変数の個人差、性差及び信頼性」(日本体育測定評価学会第6回大会、2007年3月、於：東京薬科大学)</li> <li>5) <u>Yoshinori Nagasawa</u>, Shinichi Demura: Age group differences of controlled force exertion by a computing bar chart target-pursuit system in Japanese female adults. 12th Annual Congress of the European College of Sports Science (Jyvaskyla, Finland) 2007, 7.</li> <li>6) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、山田孝禎、菅野紀昭、池本幸雄、南雅樹「高等専門学校男子学生生活習慣および健康状態の縦断的推移－2001年入学生の4年間の縦断的資料を用いて」(第12回日・韓健康シンポジウム兼第55回日本教育医学会大会、2007年8月、於：名古屋市立大学)</li> <li>7) 北林保、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、内山応信、吉村喜信、池本幸雄「高齢者の静的立位姿勢における足圧中心動揺特性」(第12回日・韓健康シンポジウム兼第55回日本教育医学会大会、2007年8月、於：名古屋市立大学)</li> <li>8) 山田孝禎、出村慎一、野口雄慶、菅野紀昭、<u>長澤吉則</u>、山本桂「高齢者の椅子立ち上がり動作直後の歩行特性と転倒リスクとの關係」(第12回日・韓健康シンポジウム兼第55回日本教育医学会大会、2007年8月、於：名古屋市立大学)</li> <li>9) 野口雄慶、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、内山応信、辛紹熙「足関節に対する近赤外線照射、軽運動、およびストレッチによるウォーミングアップが関節可動域およびタッピング動作に及ぼす影響」(第12回日・韓健康シンポジウム兼第55回日本教育医学会大会、2007年8月、於：名古屋市立大学)</li> <li>10) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、中田征克、出村友寛、池本幸雄「健常男性を対象とした擬似ランダム波形表示法による筋力発揮調整能測定値の年代差および標準値の作成」(日本体育学会第58回大会、2007年9月、於：神戸大学六甲台キャンパス)</li> <li>11) 中田征克、出村慎一、青木宏樹、<u>長澤吉則</u>、宮口和義、山本桂「漸増負荷法と最大努力の一定負荷法を用いた持続性把握作業における筋持久力評価変数相互の關係」(日</li> </ol>

	<p>本体育学会第58回大会、2007年9月、於：神戸大学六甲台キャンパス)</p> <p>12) 出村友寛、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、松田繁樹、山本裕太「開眼片脚立位時の足圧中心動揺と閉眼片脚立ち保持時間の関係」(日本体育学会第58回大会、2007年9月、於：神戸大学六甲台キャンパス)</p> <p>13) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、中田征克、青木宏樹、辛紹熙「健常女性を対象とした擬似ランダム波形表示法による筋力発揮調整能の年代差および標準値の検討」(日本体力医学会第62回大会、2007年9月、於：ノースアジア大学)</p> <p>14) 青木宏樹、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、中田征克、山本桂「青年女子における異なる動作の単発的パワー発揮の一側優位性」(日本体力医学会第62回大会、2007年9月、於：ノースアジア大学)</p> <p>15) 山本桂、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、山次俊介、青木宏樹「間欠的把握作業時における指示条件の違いが筋力値および筋酸素動態に及ぼす影響」(日本体力医学会第62回大会、2007年9月、於：ノースアジア大学)</p> <p>16) 辛紹熙、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、青木宏樹「箸使用が豆運びテストの評価変数に及ぼす影響の検討」(日本体力医学会第62回大会、2007年9月、於：ノースアジア大学)</p> <p>17) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、山次俊介、中田征克、北林保、山本桂「棒グラフ表示法による筋力発揮調整能の年代差および性差」(日本体育測定評価学会第7回大会、2007年12月、於：東京医科大学病院)</p> <p>18) 大杉貴康、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、佐藤進、北林保、山本桂「生徒が考える体育授業の構成要因の検討－因子構造、因子相互間の関連性、および性差の観点から」(日本体育測定評価学会第7回大会、2007年12月、於：東京医科大学病院)</p> <p>19) 山本桂、出村慎一、青木宏樹、<u>長澤吉則</u>、山次俊介、中田征克「異なる筋力発揮パターンの間欠的把握作業における評価変数相互の関係」(日本体育測定評価学会第7回大会、2007年12月、於：東京医科大学病院)</p> <p>*学会報告座長</p> <p>1) 第12回日・韓健康シンポジウム兼第55回日本教育医学会大会 B会場口頭発表部門座長(2007年8月、於：名古屋市立大学)</p> <p>2) 日本体育学会第58回大会 測定評価専門分科会口頭発表部門座長(2007年9月、於：神戸大学六甲台キャンパス)</p>
Ⅲ 社会活動 および受 賞暦等	<p>*各種公的団体、審議会への参加・所属等</p> <p>1) 日本教育医学会理事(1994年8月～2007年7月)</p> <p>2) 日本教育医学会常任理事(2007年8月～)</p> <p>3) 第12回日・韓健康教育シンポジウム兼第55回日本教育医学会大会実行委員(2007年8月)</p> <p>4) 日本体力医学会東北地方会幹事(1998年9月～)</p> <p>5) 第62回日本体力医学会大会実行委員(総務部門)(2007年5月～11月)</p> <p>6) 日本体育測定評価学会理事(2005年4月～)</p>



総合科学教育研究センター個人業績

	<p>7) 日本体育測定評価学会研究助成案作成委員会(仮称)委員(2006年11月～2007年3月)</p> <p>8) 日本体育測定評価学会研究推進委員会委員(2007年4月～)</p> <p>9) 日本体育測定評価学会研究助成委員会委員長(2007年4月～)</p> <p>10) 第62回秋田国体競技力向上対策本部体力診断事業アドバイザー(1998年10月～)</p> <p>11) 秋田県スポーツ医・科学委員会委員(1999年4月～)</p> <p>12) 秋田県立大学全学サッカー部監督(2001年4月～)</p> <p>13) 東北地区大学サッカー連盟大学委員会運営3部A委員(2006年4月～)</p> <p>14) 東北地区大学サッカー連盟大学委員会監事(2007年4月～)</p> <p>15) 第32回東北地区大学サッカーリーグ大会役員(委員)(2007年9月)</p> <p>16) 第2回ミズノ・工藤スポーツ杯小学生バレーボール大会大会会長(2007年2月)</p> <p>* 資格、受賞歴等</p> <p>1) 金沢大学大学院自然科学研究科学位論文審査員(博士課程担当者)(2006年7月～)</p> <p>2) 秋田大学教養基礎教育&lt;学生からの評価が高い授業&gt;認定証(2007年11月)</p>
IV 講演・公開講座等	<p>1) 秋田大学教育文化学部非常勤講師&lt;スポーツ教育&gt;(2003年4月～)</p> <p>2) 秋田大学教育文化学部非常勤講師&lt;スポーツ論&gt;(2007年12月～)</p>
V その他の活動	<p>* 助成研究</p> <p>1) 長澤吉則(研究代表者)：文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)「視覚・固有受容系による上肢・下肢の筋力発揮調整能に関する研究」(課題番号17700476)平成17年度～平成19年度.</p> <p>2) 出村慎一：文部科学省科学研究費補助金萌芽研究「高齢者の転倒による大転子骨折予防のためのエアバック式ヒッププロテクターの開発」(課題番号19650187)平成19年度～平成21年度(共同研究：研究分担者).</p> <p>3) 長澤吉則(研究代表者)：平成19年度学長プロジェクト研究「上肢の伸張-短縮サイクル運動を用いたフィードバック制御機能評価方法の開発」平成19年7月</p> <p>* 報告書等</p> <p>1) 長澤吉則「視覚・固有受容系による上肢・下肢の筋力発揮調整能に関する研究」平成18年度科学研究費補助金若手研究(B)実績報告書、2007年5月</p> <p>* 雑誌記事等</p> <p>1) 長澤吉則「教養教育と保健体育」(「秋田魁新報」、2007年10月31日)</p>

紺野 祐 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文</p> <p>1) 紺野 祐『『学び』と『教え』の人間学——《人間の本性》の視点から』『プロテウス』(仙台ゲーテ自然学研究会)2006年12月27日、第9号、151～272ページ(単著)</p> <p>2) 紺野 祐「教育的営為の構成に関する一考察——子どもの心と行動を中心に」『秋田県</p>
------------	---

総合科学教育研究センター個人業績

	<p>立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2007年3月日、第8号、15～32ページ(単著)</p> <p>3) 丹藤 進・紺野 祐「教師のライフ・イベントとポジティブな特性が精神的健康(バーンアウト、職務満足感、効力感)に及ぼす影響」『青森中央学院大学研究紀要』(青森中央学院大学) 2007年3月31日、第9号、77～102ページ(共著)</p> <p>4) 紺野 祐・丹藤 進「教師レジリエンスにおけるバーンアウトとポジティブ／ネガティブな経験との関係」『日本教師教育学会年報』(日本教師教育学会) 2007年9月28日、第16号、77～87ページ(共著)</p>
III 社会活動・受賞歴等	<p>1) 東北教育哲学教育史学会役員(監査)(2005年9月～)</p>

高階 悟 教授

I 著書・学術論文等	<p>1) 高階 悟「文学・言語そして外国語教育」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2007年8号、33～45ページ、(単著)</p>
II 学会報告等	<p>1) 高階 悟「言語とアイデンティティ」 (日本国際理解研究学会 第14回東北支部研究発表会、2007年12月15日、於：カナリヤ保育園)</p>
III 社会活動・受賞歴等	<p>1) 東北英語教育学会理事(2006年4月～)</p> <p>2) 秋田県 TOEIC 推進協議会委員(2003年4月～)</p> <p>3) 法廷通訳人登録 秋田地方裁判所(2005年4月～)</p>
V その他の活動	<p>1) 第33回全国英語教育学会大分研究大会 自由研究発表 司会 2007年8月5日 大分大学</p> <p>2) 東北英文学会第62回大会 研究発表 司会 2007年11月17日 山形大学</p> <p>3) 秋田魁新報 2007年4月19日 文化欄 「神が見捨てた大地：アフリカのブラッド・ダイヤモンド」</p>

高橋 守 教授

I 著書・学術論文等	<p>*学術論文</p> <p>1) 高橋 守「一般教育の英語(2)：アクション・ログによる内省的な学習」(秋田県立大学総合科学教育研究センター『秋田県立大学総合科学研究彙報』第8号、pp.47-56、2007年3月28日)(単著)</p>
------------	--

総合科学教育研究センター個人業績

II 学会報告等	<p>1) 高橋 守 "Action log and topic-based instruction" (全国語学教育学会秋田支部例会、2007年9月29日、於：ジョイナス) (単独)</p> <p>2) 高橋 守 "Promoting autonomous learning through reflection" (全国語学教育学会第33回年次大会、2007年11月25日、於：国立オリンピック記念青少年総合センター) (共同)</p>
IV 講演・公開講座等	<p>1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業 (2007年10月中に4回実施、於：秋田県立大学本荘キャンパス)</p> <p>2) 「英語技能習得のための実践的授業のあり方」(秋田県高等学校教育研究会英語部会研修会、2007年11月21日、於：秋田県立横手清稜学院高等学校)</p>

桧山 晋 教授

I 著書・学術論文等	<p>* 学術論文</p> <p>1) 桧山 晋「スラッシュ・リーディングについて」(秋田県立大学総合科学教育研究センター『秋田県立大学総合科学研究彙報』第8号、pp. 57-62、2007年3月28日) (単著)</p>
IV 講演・公開講座等	<p>1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業 (2007年5月中に3回実施、於：秋田県立大学本荘キャンパス)</p>

榎木蘭鉄也 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 著書</p> <p>1) 河原俊昭・野山広(編著)、飯田毅・井上恵子・榎木蘭鉄也・大原始子・小野原信善・熊谷晃・近藤功・猿橋順子・春原直美・仙田武司・辻建一・徳地慎二・仲潔・樋口謙一郎・藤田美佳・山川智子(著)『外国人住民への言語サービス：地域社会・自治体は多言語社会をどう迎えるか』(明石書店、pp. 177-191、2007年1月25日) (共著)</p> <p>2) 河原俊昭・山本忠行(編著)、井筒勝信・榎木蘭鉄也・岡戸浩子・川畑松晴・後藤田遊子・江田優子・四釜綾子・千保卓也・高木裕子・田嶋ティナ宏子・手塚順孝・中尾正史・長谷川瑞穂・樋口謙一郎・八田洋子(著)『外国人と一緒に生きる社会がやってきた：多言語・多文化・多民族の時代へ』(くろしお出版、pp. 126-7、2007年4月1日) (共著)</p> <p>3) 河原俊昭・山本忠行(編著)、石原忠佳・榎木蘭鉄也・岡戸浩子・四釜綾子・田嶋ティナ宏子・野中広・バックハウス・樋口謙一郎・フフバートル・山川智子(著)『世界の言語政策：第2集』(くろしお出版、pp. 151-178、2007年6月1日) (共著)</p> <p>* 学術論文</p> <p>1) 榎木蘭鉄也「授業に国際英語の視点を：リーディング教育に国際英語の視点を入れるには」(大修館書店『英語教育』2007年3月号、pp. 48-49、2007年2月10日) (単著)</p>
------------	---

総合科学教育研究センター個人業績

	<p>2) 榎木蘭鉄也「映画で国際英語にふれよう」(大修館書店『英語教育』2007年11月号、pp. 24-25、2007年10月10日)(単著)</p> <p>*雑誌リレー連載(コラム記事)</p> <p>1) 榎木蘭鉄也「Sir ji, I'm wanting your camera!」(「英語玉手箱」リレー連載コラム「アジア英語に魅せられて」、大修館書店『英語教育』2007年5月号、p. 59、2007年4月10日)(単著)</p> <p>2) 榎木蘭鉄也「Bollywood の filmi song の playback singer とは?」(「英語玉手箱」リレー連載コラム「アジア英語に魅せられて」、大修館書店『英語教育』2007年8月号、p. 59、2007年7月10日)(単著)</p> <p>3) 榎木蘭鉄也「(Hindi + English) in Britain」(「英語玉手箱」リレー連載コラム「アジア英語に魅せられて」、大修館書店『英語教育』2007年11月号、p. 59、2007年10月10日)(単著)</p>
Ⅲ 社会活動・受賞歴等	<p>1) 日本「アジア英語」学会 理事・事務局長代行・紀要査読委員・ESSC (Extremely Short Story Competition) 審査委員・第21回及び第22回全国大会運営委員及び予稿集編集長</p>
Ⅴ その他の活動	<p>*研究発表司会</p> <p>1) 第21回日本「アジア英語」学会 研究発表司会(2007年6月30日、於京都光華女子大学)</p>

Stephen Shucart 准教授

Ⅰ 著書・学術論文等	<p>*学術論文</p> <p>1) Stephen Shucart "The Terrace Labyrinth Framework for Modeling Language Emergence - Part Two" (秋田県立大学総合科学教育研究センター『秋田県立大学総合科学研究彙報』第8号、pp.63-67、2007年3月28日)(単著)</p>
Ⅲ 社会活動・受賞歴等	<p>1) Publicity Chair for the Akita JALT Chapter.</p>
Ⅳ 講演・公開講座等	<p>1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業(2007年11月中に4回実施、於：秋田県立大学本荘キャンパス)</p>

草薙優加 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>*学術論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Kusanagi, Y. "Extensive Reading Instruction at Akita Prefectural University: How Students Perceive Their Reading Experiences." <i>Akita Prefectural University RECCS Bulletin</i>, 8, 69-84. March, 2007. (単著)</li> <li>2) Charles, D., &amp; Kusanagi, Y. "A Taste of JALT 2006: Excerpts from the Proceedings, Using Drama to Motivate the EFL Students: Building Classroom Communities and Students' Identities." <i>The Language Teacher, Special Issue: A Taste of JALT 2006</i>, 31(10), 9-10. October, 2007. (共著)</li> <li>3) Charles, D., &amp; Kusanagi, Y. "Using Drama to Motivate the EFL Students: Building Classroom Communities and Students' Identities." <i>JALT 2006 Conference Proceedings</i>, 606-613. November, 2007. (共著)</li> </ol>
<p>II 学会報告等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) Kusanagi, Y. "Japanese University Students' Reflective Comments on Their Extensive Reading Experiences." Temple University Applied Linguistics Colloquium 2007 (大阪府北区 Temple University, Japan Campus) February 4, 2007 (単独)</li> <li>2) Kusanagi, Y. "Mirroring Gestures: A Window to SLA Learner's Hypothesis Testing." ISGS (International Society of Gesture Studies) The 3rd International Conference (Northwestern University, Evanston, Illinois, U.S.A) June 19, 2007 (単独)</li> <li>3) Kusanagi, Y. "Montage: Activities to Increase Learner Autonomy and Understanding Others." The International Conference of the Independent Learning Association 2007 (千葉県千葉市 神田外語大学) October 7, 2007 (単独)</li> <li>4) Kusanagi, Y. "Potentialities of Drama in Language Education: What Students Tell Us." The 1st Conference of International Association of Performing Language (東京都新宿区 早稲田大学) November 11, 2007 (単独)</li> <li>5) Kusanagi, Y. "Teaching Learners and Language Users through Drama." JALT 2007: The 32nd Annual International Conference (The Japan Language Association for Language Teaching) (東京都渋谷区 国立オリンピック記念青少年センター) November 23, 2007 (単独)</li> <li>6) Kusanagi, Y. "Storytelling with a Montage Poster." for "the Story Space: The Looking Glass." JALT 2007: The 32nd Annual International Conference (The Japan Language Association for Language Teaching) (東京都渋谷区 国立オリンピック記念青少年センター) November 24, 2007 (単独)</li> </ol>

総合科学教育研究センター個人業績

<p>Ⅲ 社会活動 ・受賞歴 等</p>	<p>1) Temple University, Japan Campus, Working Papers in Applied Linguistics 編集委員 (2005月 1月～2007年 3月)</p> <p>2) 大学英語教育学会 (JACET) 全国運営委員会 研究会担当委員会 委員 (2007年 4月～)</p> <p>3) 大学英語教育学会 (JACET) 紀要査読員 (2007年 4月～)</p> <p>4) 大学英語教育学会 (JACET) 東北支部 研究企画委員 (2007年 4月～)</p> <p>5) 大学英語教育学会 (JACET) 東北支部 支部紀要委員 (2007年 4月～)</p> <p>6) 国際表現言語学会 (International Association of Performing Language) 理事 (2007年11月～)</p>
<p>V その他の 活動</p>	<p>* 記事・取材協力等</p> <p>1) 『&lt;群読&gt;実践シリーズ すぐ使える群読の技法—基本から応用まで』(書籍 CD 収録 協力) (高文研 2007年3月)</p> <p>2) 「メディアとわたし—恩恵と危うさと」(記事) (『こととい』秋田・市民のメディア 研究会会報13号, p.2 2007年6月)</p> <p>3) 「世界を描き出すことば」(「秋田魁新報」2007年 8月14日)</p>

松村聡子 准教授

<p>I 著書・学 術論文等</p>	<p>* 学術論文</p> <p>1) 松村聡子 「視線の交錯——"the fair artist"としての Helen Huntingdon——」 (秋田県立大学総合科学教育研究センター『秋田県立大学総合科学研究彙報』第 8 号、 pp.85-92、2007年3月28日) (単著)</p>
<p>Ⅲ 社会活動 ・受賞歴 等</p>	<p>1) 第54回秋田県母親大会主催 2007年第54回秋田県母親大会第 7 分科会司会 (2007年10 月14日)</p>
<p>Ⅳ 講演・公 開講座等</p>	<p>1) 「<i>Jane Eyre, Villette, The Tenant of Wildfell Hall</i>の中の絵画」(2007年度日本ブ ロンテ協会公開講座 第 1 回、2007年 4月21日、於：青山学院大学)</p>
<p>V その他の 活動</p>	<p>* 記事・取材協力等</p> <p>1) 「CALL へようこそ」(「秋田魁新報」、2007年11月 7日)</p>